

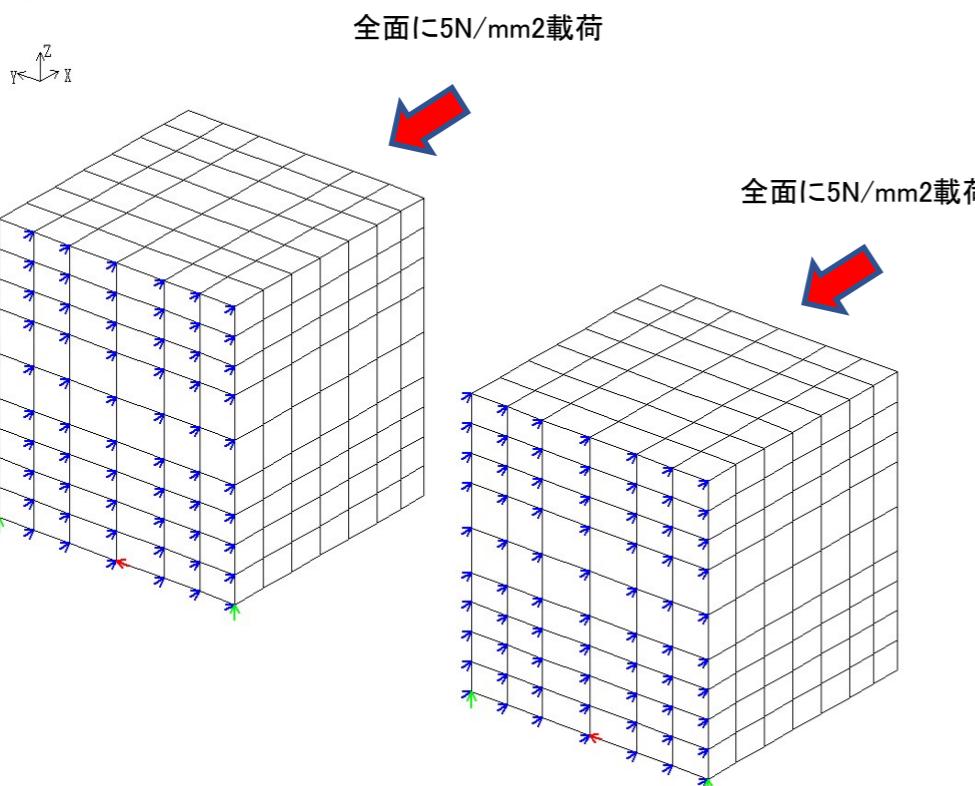
## 【解析条件】

分散鉄筋の影響が、荷重、温度応力、自己収縮に与える影響について確認を行った。  
ソフトはASTEA MACSを使用した。  
解析モデルは、分散鉄筋を考慮したRCモデルと分散鉄筋を考慮しないコンクリート要素で確認した。

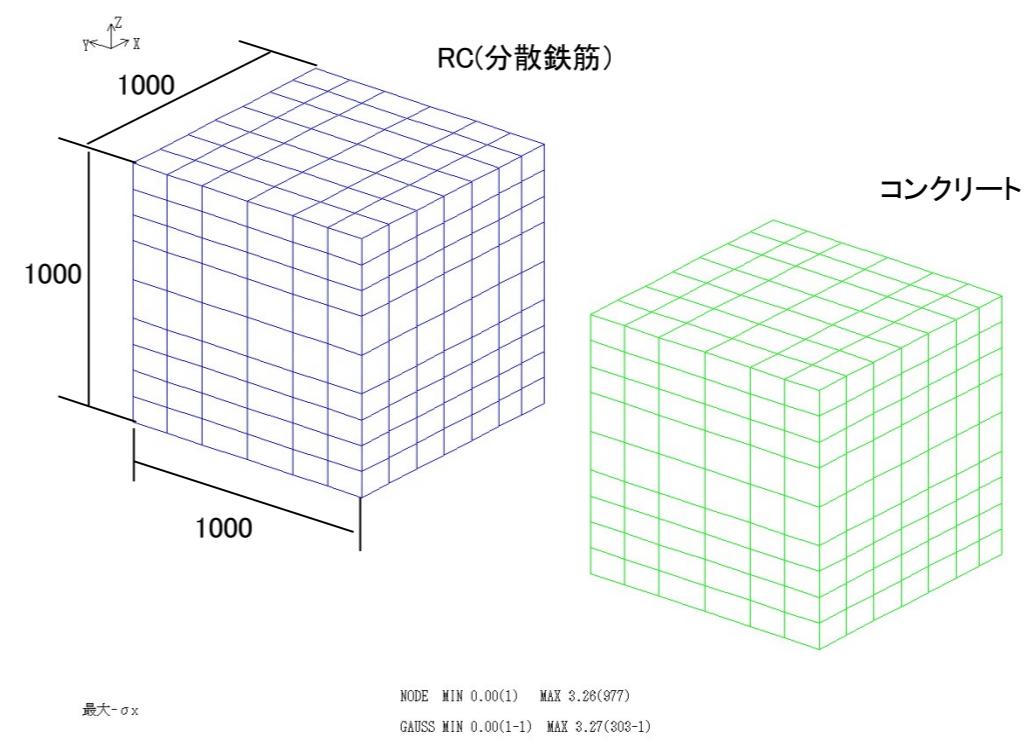
鋼材ヤング係数Es	200000	N/mm <sup>2</sup>
コンヤング係数Ec	31000	N/mm <sup>2</sup>
ヤング係数比n	6.45	
鉄筋比pt	0.2 (=20%)	
コン面積Ac	1000000	mm <sup>2</sup>
鉄筋断面積As	200000	mm <sup>2</sup>
RC換算断面積	2290323	mm <sup>2</sup>
載荷荷重P	5.0	N/mm <sup>2</sup>
σ RC	2.18	N/mm <sup>2</sup>
σ c	5.00	N/mm <sup>2</sup>

手計算  
手計算

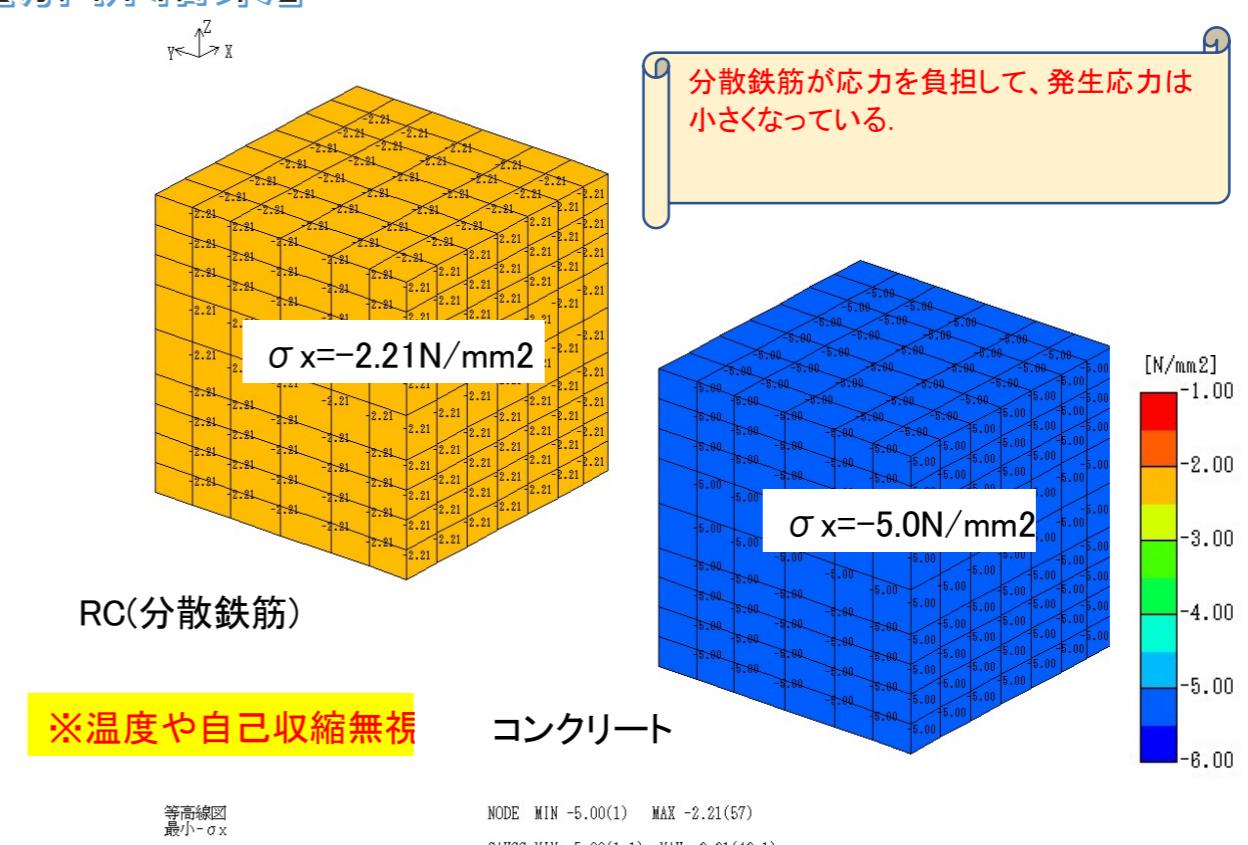
## 【荷重】



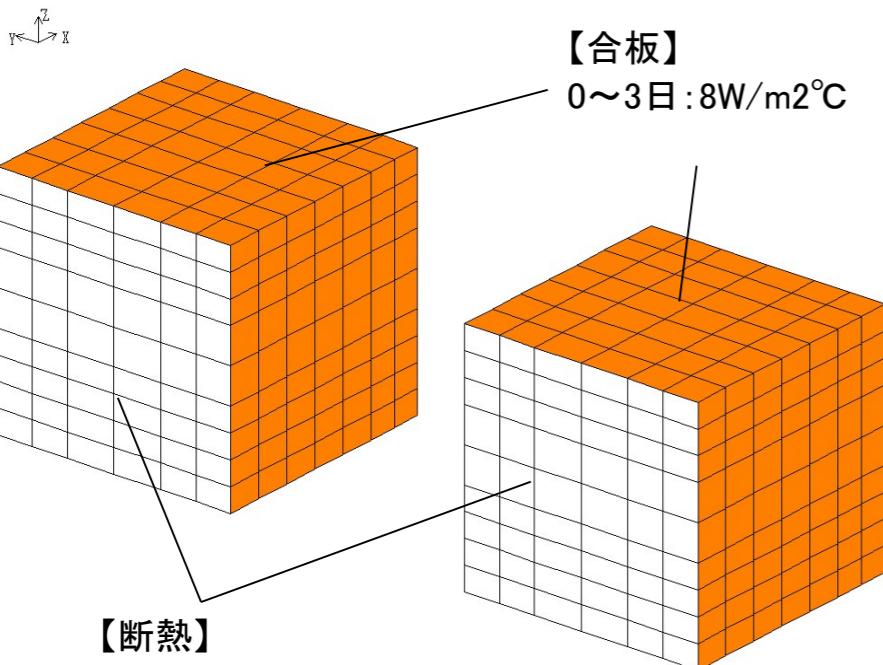
## 【解析モデル】



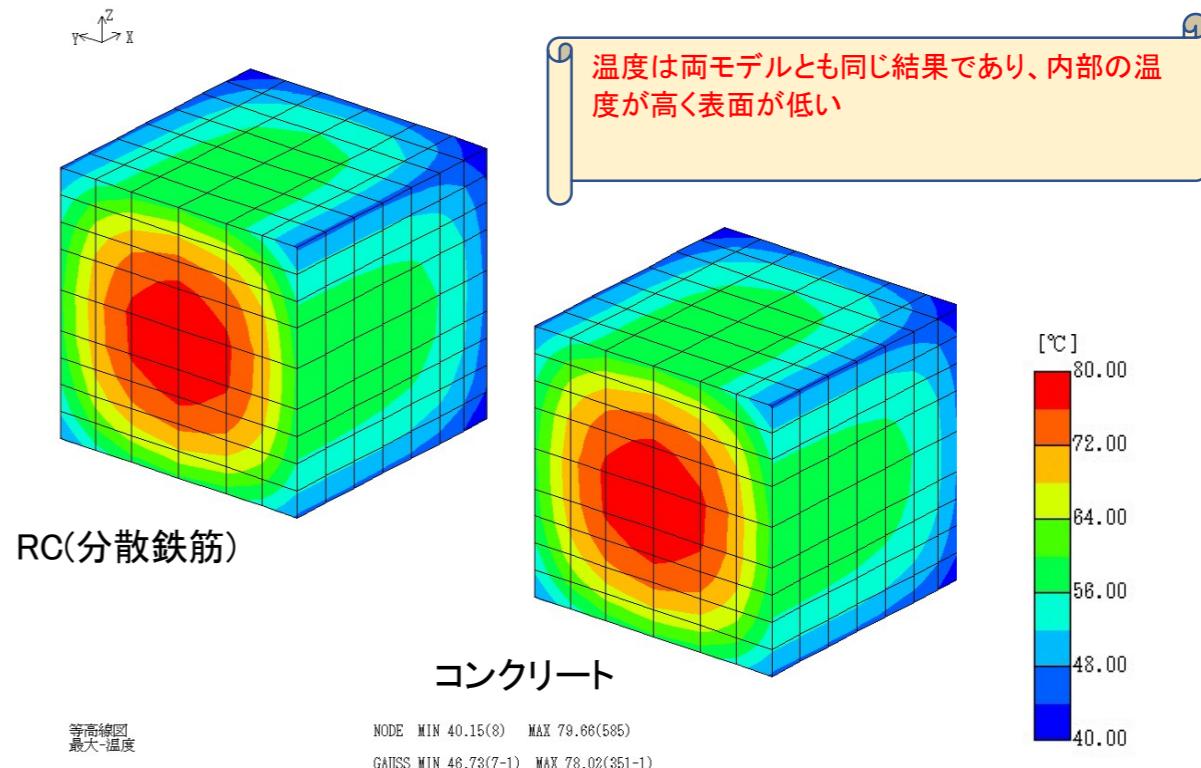
## 【解析結果】



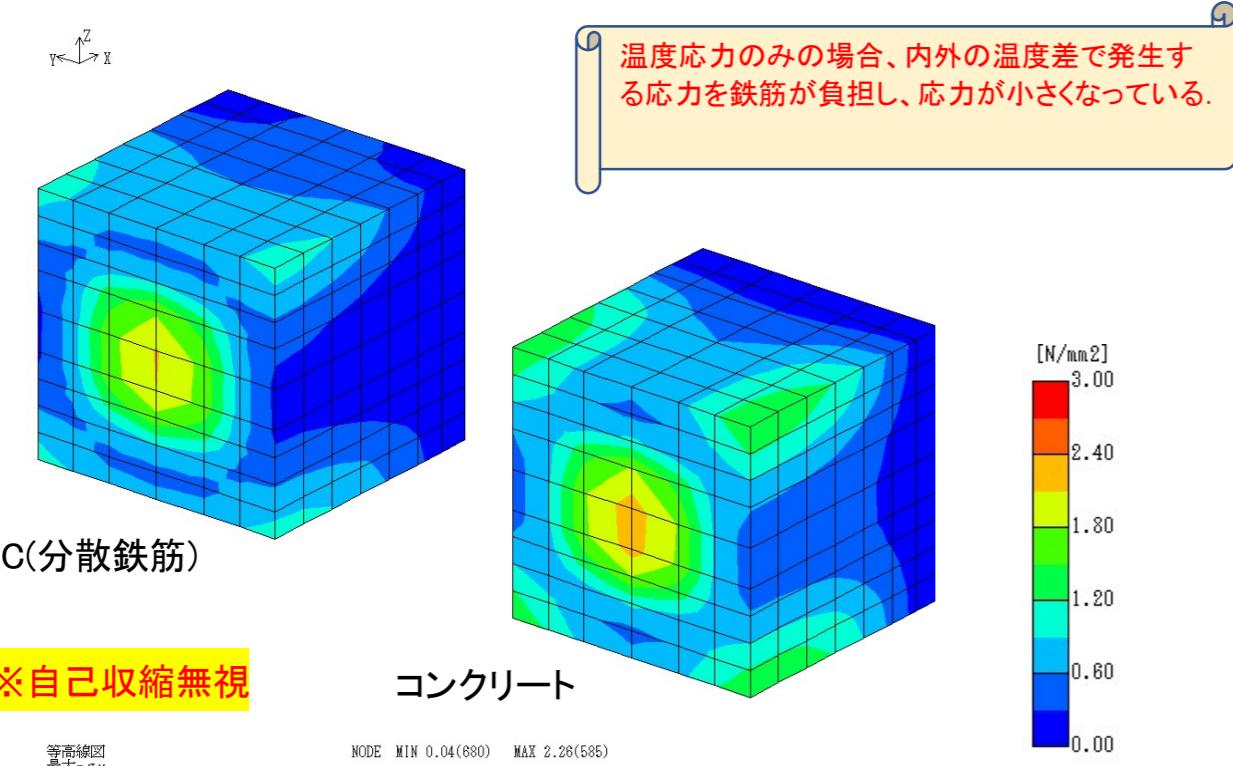
## 【熱伝達境界条件】



## 【解析結果: 温度コンター】



## 【解析結果: 温度のみ σxコンター】



## 【解析結果: 自己収縮のみ σxコンター】

